

いよいよ十二月、一年のおしまいの月になりましたね。月日のたつのは早いものです。

十二月は別の言い方では師走しわすといえます。師というのは先生やお坊さんぼくなど、何かを学ぶ時に教えてくれる人のことですが、そういった、ふだんはどっしりとこしを落ち着けてすわっているイメージの人でも走り回るほどいそがしい月ということですよ。

師走の由来にはいろいろな説がありますが、一つはお坊さん由来のものです。

「今年もお見守りありがとうございます。来年もよろしくおねがいします。」

という意味をこめてご先祖様や仏様をおがむために、お坊さんがたくさんのお家からよばれて走り回ったという説。

もう一つは御師おんし由来のもの。御師というのは伊勢神宮などに全国各地から参拝客さんぱいきゃくを呼び込んで宿のお世話やどをしたり、ご利益りやくを説明して広めたりする人のことです。彼らが一番忙しいのがこの時期だったというのです。なにしろ伊勢神宮いせじんぐうなどの主な神社にはお正月にどつと人が初もうでに行きますからね。そういうお客さんの手配をするのは事前になることになるわけで、そうすると十二月がいそがしい、ということになるのです。

むかしは十二月が一年のしめくくりという意味が今よりも強かったのです。借金をした場合などその年の間に返す、とか仕事を何かうけおったときなども、その年中に仕上げる、とか。さてみなさんはお正月に「今年はこれがんばろう」と思ったことができたでしょうか？ふりかえって来年につなげましょう。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

( ) 十二月の行事 ( ) 師走の由来

( ) 師とはだれのことか ( ) 走る人

② 師とはふつうどういう人のことですか？

③ 師走の由来になった師はおもにどういう人のことですか？

と

④ なぜ家々では年末にお坊さんぼくを呼んだのですか？

⑤ 昔の人がその十二月中にしたかったのは？

( ) 借金 ( ) 借金返済 ( ) 初詣

⑥ 御師の意味を書きぬきましょう。

⑦ 初詣は一月なのになぜ御師は十二月に忙しいのですか？

⑧ ご利益の意味を調べてみましょう。

⑨ あっているものに○をつけましょう。

( ) 師走のことを「しそう」と読む。

( ) しめくくりを意識することは大切だ。

( ) 今年の目標ができなくてもどうでもいい。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

